

新年あけましておめでとうございます

大河津出張所からごあいさつ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、大河津出張所にとりまして大きな節目の年となりました。

まずは、1月に信濃川水系の今後概ね30年の具体的な河川整備の目標や整備内容を示す「信濃川水系河川整備計画」が策定されました。河川整備計画では、大河津分水路の改修を優先的に進めていくこととされ、4月20日には、大河津分水路の抜本的な改修に向けた調査着手式が執り行われました。

また、平成15年度より11年間実施してきました『可動堰改築事業』も無事全ての工事が完了し、6月29日に竣工式を執り行うことができました。

地域の皆様方におかれましては、地域の安全・安心を高めるための大河津分水路の取り組みに対し、ご理解とご協力を賜り、この場を借りまして改めて厚く御礼申し上げます。

信濃川・大河津分水では、昨年は大きな災害はありませんでしたが、全国的には広島での大規模土砂災害、御嶽山の火山噴火、長野県北部の地震などの大災害も発生しております。いつ起こるかわからない災害に対して、万全を期すために可動堰・洗堰をはじめとする管理施設についても、これまで同様にしっかりと維持管理をしていきます。

『人類ノ為 国ノ為』 これは、青山土が補修工事竣工記念碑に記した一文です。この言葉を胸に、今年も1年間、地域の安全・安心の確保に全力で努めて参りますので、引き続きのご理解、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(大河津出張所 職員一同)



写真提供: ㈱IHIインフラシステム

竣工した大河津可動堰



大河津可動堰竣工式(H26.6.29)



今後改修を行う分水路河口部及び第二床固

大河津分水講演会が開催されました

平成26年12月7日（日）に燕三条地場産業振興センターにおいて『大河津分水講演会2014 地域と考える信濃川・大河津分水の恵みとその将来』が開催されました。前日の大雪の影響が心配されましたが、約190名という大勢の方が参加されました。

本講演会は、信濃川大河津資料館友の会（以下「友の会」）が平成24年から、一般市民の方と共に大河津分水路や信濃川について深く知ることを目的に開催しているものです。

昨年の講演会では、まず、早川友の会理事長が『大河津資料館友の会の目指すもの』と題し、過去の降雨データからH23新潟福島豪雨は、五十嵐川において100～120年に1度の規模と推計した結果を報告されました。また、「大河津分水は地域を守り、その発展を支え、地域文化をも育てている。この地域文化の継承を強く願い、私たち友の会は活動している。」と講演されました。

次いで野田北陸地方整備局長が「北陸における減災・防災の取り組み」と題し、東日本大震災で得られた教訓や全国的な治水事業の取り組みやその効果、今後発生が予想される東南海トラフ地震に対する備えなど、国が実施している減災・防災の取り組みを説明されました。

本講演会は、今年も引き続き行われる予定です。



早川友の会理事長



野田整備局長



講演を熱心に聴講する参加者

分水路右岸高水敷の利活用にチャレンジする事業者を募集中

可動堰の改築では、平常時の河道（低水路）を右岸寄りから河道中央へ付け替えました。これにより、右岸には広大な高水敷が整備されました。

燕市では、水辺とまちが一体となった新しい賑わいを生み出し、地域活性化に繋げるため、この高水敷の新たな利活用に参画していただける事業者を募集しています。

○募集期間：平成27年5月1日まで（5月下旬に説明会を予定）

○募集対象：高水敷の利活用について関心をお持ちの事業者等

平成27年10月頃に事業者を選定、平成28年度より事業を行う予定となっています。

募集に関する詳細は、燕市都市計画課（電話0256-77-8263）へお問合せください。



利活用対象の右岸高水敷

大河津可動堰情報館ホームページから、毎月1日には可動堰回覧板の最新号をご覧頂けます。また、バックナンバーも合わせてご覧頂けます。アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeiki/>」です。『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134（平日 AM9:00～PM4:00）

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121

大河津出張所

:大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等

信濃川河川事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeiki/>

信濃川大河津資料館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>